大学模擬授業

進路探究

キャリア

1・2年生対象
実車点検や顕微鏡観察も 進路選択へ意識高める



本校で10月22日、1・2年生を対象とした「大学（専門学校）模擬授業」が行われた。生徒の進路意識の向上と各学問分野への理解を深める目的で企画されたもので、5・6時間目の2部構成で実施。生徒たちは多岐にわたる開設講座の中から希望する2分野を選択し、専門機関の講師陣による本格的な講義や実習に臨んだ。

体験型講座に高い関心





当日は学問の面白さを肌で感じられるよう、工夫を凝らした講座が多数開講された。

校内の中庭では、実際に自動車を配置した実践的な講座が開かれた。講師の解説のもと、生徒たちは実物のエンジンや構造を覗き込み、日常点検の手順やメカニズムの基礎を体験的に学んだ。参加した生徒は、普段目にすることのない車の内部構造に興味津々の様子で見入っていた。

また、理科室では本格的な顕微鏡を用いた微生物の観察講座が行われた。生徒たちはレンズ越しに広がるミクロの世界に触れ、観察や実験を通じた探究の楽しさを体感していた。

多角的な学びで将来像描く



このほかにも、心理学、経営学、栄養、看護、理学、工学をはじめとする多様な専門分野の講座が一斉に開講された。座学やグループワーク、体験型プログラムなどを通して、それぞれの学問が社会でどのような役割を果たしているのか、専門職に必要な知識やスキルについて具体的な説明がなされた。

2つの時間枠をフルに活用し、幅広い分野の専門性に触れた生徒たち。参加者からは「大学や専門学校での学びが具体的にイメージできるようになった」「自分の興味がある分野をさらに深く調べてみたい」といった声が聞かれた。

今回の取り組みは、生徒一人ひとりが自身の「好き」や「関心」を再発見し、将来の進路を自発的に選択するための貴重な機会となった。